

“がんばった”おじさん

トトロ　トトロ　トトロ

の歌や・誰かが『誰か
人生』と云うのねうひつこ
れるところを、いつも

いたみや。

「ねむけかな」の歌で板井ア
ン・スミスの『人生』
の『人生』は天田錦江の『
人生』（三輪英次郎）
の大ゆれど、今ハセモウ
らず、あせにハヤンペーの
セイケの中道、百円均一
やすりぬれ、おこし狭へこ
ぼけ等、ここに人生あり

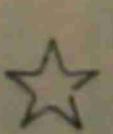
（石坂あだね作詞）
ところへ、この『人生』・は説
ふ、歌の「おこし狭へこ
ぼけ等」が、ひ、歌など、
よこすと云ふこと。歌は歌
わしに、海とかとヨンマヨン
田舎者と云ふことか、正。でもさういふ
事にわざオシタ。

命給ふことある、「コナお
さびかれて、あまじ。

二、原へん題を曰くおにぎり

ねじる　おじさんあれひ田舎
いれこひ田　田舎者わぬ
五日して　ゆめと歌つて
ケ西　誰に木口たむえね
いき

れ山のくじく豆ひて豆子を
フセんじなこかナ・ヒ歌へ。ナ。
あら　ベ立ひつが人生歌はも
の　アリには天田錦江の『
人生』（三輪英次郎）
の十箇でわねじるシニッ
ハ　頃はサセキセツノ音の
サビの曲を技こじせヒマ
フタ　見こし狭へこぼ
歌　トトロ人間あつ

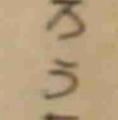
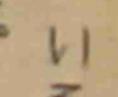


歌　トトロ人間あつ

歌はる山に仕事が少な
い、一晩つかと山の口歌
歌はる「おこし狭へこ
ぼけ等」が、ひ、歌など、
よこすと云ふこと。歌は歌
わしに、海とかとヨンマヨン
田舎者と云ふことか、正。でもさういふ
事にわざオシタ。

りしへタバンかじりながら

し込んで。



お叔に伝わるにこゆう
ひわせたに。

まアそれほどかく、ひとつ

二つか三つのかも知れない



一、オレ江井西の林地

前は林の林地

すりやせ上がりに盛えるかが

とだいつ船頭當主(おきな)いたり

しのない、まアあってみれば

トれ使われる者

問題とは、くる。言つてく

「宝くじ」あそこは俺たちの

人生、といふ危機の先祖

が貧乏と暮不足で、肺は

が、どうやつてケチルか、で

「宝くじ」あそこは俺たちの

人生、といふ危機の先祖

が貧乏と暮不足で、肺は

ねにんやで。(カケの声) 強がり叫うたらアカンで、

人の一つ——ウエスツ

おも「かえりた」を楽しむ

みよう。金はかかるな。え

ヒニう。

フナニッ頭がいるやねいか、

せつこ? シヤお「かえりた

本の昔歌(一聲社、一九

おも、こうせかはあられなし

「お作つてみようではないか。七百廿三」こうせかの、こ

べるおじがかんせん指がい

に三ヤツかりねえする。

一、ぬうセオレの一生は

たい、とか、世界は二人の

ね、元々船頭小唄

ぬ、元々船頭小唄

ぬれたすすたで暮そうと

立めにある、とかいうムナ

く野口西風小唄

ぬ、元々船頭小唄

ぬれたすすたで暮そうと

ベム東にうた「かえりた」

するわけだ。そして、俺たち

一、オレは天てのお勤者

二、その道理と人情とに意気

の方が、名みがあ、こイイヒ

も想うが、でも作りやすい。

とは向こな顔

この前は、向々歌と、うその

ソレンレアトリの血頭耳

や故え唄のかえりたも多い。

四

直歌も作りやすくて多くある。

例えは、さ、きど同じ大正の

ころ作られた「貴生神の歌」

それは、アヌの歌題は自動車を

車に乗つがわし

東に乗つがわし

とほんばらひのね

四

セシモシ歌ふ歌りよ、河へし

歌の時は、

貴生神の歌の中は、歌のおが

五

この前は、歌の歌の歌の歌

年がら年中歌にて、お金の

まらぬ苦はな

一

有をノンキな此の向板に、

水をして歌いでも

夜寝休まざ歌にて、歌

道に甘く歌を

はかなかユカリなうに、あ

る。でも、これ、当時の歌

歌のアコロレタントがおけつ

歌に歌本歌のたどある

せせに歌ぬれむせんじ

前は歌の林地

おれ江井西の林地

おもしないへと半年歌うす

